



## 「金閣VS銀閣、室町文化の代表はどちらか」

三沢小6年

福嶋 柁一朗さん  
しんいちろうさん



ぼくたちのクラスは、社会の時間に、室町文化について学習した。そこに、金閣と銀閣が出てきた。木村先生が問題を出した。

「金閣と銀閣、室町文化の代表はどちらか。」という問題だ。

この問題について、金閣派と、銀閣派でわかれた。五人中二人は金閣、三人は銀閣とわかれた。

理由は、銀閣には書院造がある。これは現在の和室のも

とになった住宅のつくりだ。金閣には、寝殿造、武家造、寺院様式はあるが、書院造はない。もしも銀閣がなければ、現在の和室の文化は生まれなかったかもしれない。銀閣によって、現在の和室の文化が生まれたのだ。つまり、日本を象徴しようとする和室は銀閣によって生まれた。

また、銀閣の床の間をかざるために、生け花の文化もさかえた。さらに、茶のみの文化も生まれ、茶室もつくられるようになった。

このように、銀閣によって、日本の和風文化がどんどん広まった。

金閣派は、次のような意見を言った。

「金閣は派手だ。だから室町文化の代表は金閣だ。」  
この意見に対し、ぼくは反対だ。

たしかに金閣は派手で目立って美しい。でもそれだけではだめだ。きれいなだけでは、室町文化の代表とはいえない。美しく、落ちついたふん囲気、さらに日本の象徴であろうなければならぬ。だからぼくは、銀閣だ。感想

ぼくは今でも銀閣派だ。そして、これからも変えるつもりはない。日本の和室の文化のもとになった銀閣はすごい。これを造った足利義政もすごい。(評) 歴史の中からテーマを選び、学習したことをもとに、考えを堂々と書いています。銀閣の魅力をくわしく書きました。

国神小6年

後藤 優和さん  
ゆうと



友情

小六 後藤優和  
(評) はらいの方向に気をつけたり、左右の組み立て方に気をつけて書きました。

皆野小3年

根岸 遥さん  
はるか



大

小三 根岸はるか  
(評) 左右のはらいに気をつけ、字形を整えて書きました。

## 「和を感じる建仁寺」

皆野中3年

小河 将真さん  
しょうま



(本人のコメント) 建仁寺の雰囲気を表現しました。細かい所は、墨の濃さを使い分けて丁寧に組みました。

## 「きれいなしま」

皆野小2年

大前 友聖さん  
ゆうせい



(評) 色が生まれるしまには、いろいろな色があるんだね。トカゲまでカラフルになったり、ふしぎなさくらがあつたり、きれいなしまに行ってみたくなるね。

## 児童の見守り放送

国神小6年

辺見 海里さん  
かいら



## 今月の題字

皆野小5年

関口 立花さん  
りか

